

1. 件名：東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請に係る面談

2. 日時：令和2年7月7日(火)13時30分～15時30分

3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※TV会議にて実施

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

細野企画調査官、田中主任安全審査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、  
加藤原子力規制専門員、佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 三浦本部長代理

事業計画統括部 次長

再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他12名

5. 要旨

○原子力機構から、資料に基づき東海再処理施設の安全対策に係る廃止措置計画変更認可申請への対応状況について説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

(資料1について)

- ・腐食しろについて、設工認時の値を使用しているものについては、設工認の当該箇所の写しを添付すること。
- ・既設工認において腐食しろを考慮していないHAWの配管については、考慮していない理由について、設計当時の考え方を整理し、より詳細に検討すること。

(資料2について)

- ・HAW及びTVFの建屋に接続されているトレンチや連絡管路について、5月に補正した申請書において廃止措置計画用設計地震動に対して安全性がどのように説明されているのか、前提条件を整理して示すこと。具体的には、当該トレンチ及び連絡管路について、今回の評価結果が廃止措置計画用設計津波に対して浸水しない構造であるということを確認した上での評価であることを示すこと。

(資料5について)

- ・浄水配管の耐震上の分類がCクラスである理由について、当該配管の持つ機能を示して説明すること。
- ・概要図において、管理区域を明示すること。

○原子力機構より、承知した旨返答があった。

6. 配付資料

資料 1 : 耐震計算における部材厚さ（腐食しろ）の考え方について

資料 2 : HAW 建家貫通部からの浸水の可能性について

資料 3 : TVF 建家貫通部からの浸水の可能性について

資料 4 : 結合装置の製作・交換に係る使用前自主検査について（設計及び工事の計画の見直し）

資料 5 : TVF 浄水配管の一部更新について（設計及び工事の計画）